

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成30年11月29日 (2018.11.29)

【公開番号】特開2017-73208(P2017-73208A)
 【公開日】平成29年4月13日 (2017.4.13)
 【年通号数】公開・登録公報2017-015
 【出願番号】特願2015-197548(P2015-197548)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 B 33/12 E

H 0 5 B 33/14 A

G 0 2 B 5/20 1 0 1

【手続補正書】
 【提出日】平成30年10月3日 (2018.10.3)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 5 0 】

また、不要光除去用フィルタ層 171 を有する光学フィルタ 17 は、表示装置 1 の各画素の発光部（各有機 EL 素子 10R，10G，10B）に対して共通の層として設けられている。このため、製造プロセスにおいては、基板 170 上に光学フィルタ 17をベタ膜として形成することができる。また、各発光部との精細なアライメントも不要である。ここで、各色光の色純度を高めるために、画素毎に R，G，B の色材がパターンニングされるカラーフィルタが用いられる場合、隣接画素への光漏れ等を防止するために、発光部とフィルタ部分との精細なアライメントを要する。このため、基板の大型化あるいは画素の高精細化等に対応することが困難である。これに対し、本実施の形態の光学フィルタ 17 では、パターンニングやアライメントが不要であることから、基板の大型化や画素の高精細化にも対応可能である。